

特定非営利活動法人  
(NPO法人)  
**東京シューレ**  
—子ども中心で学び、育つ—  
2015年1月30日  
NPO法人東京シューレ 奥地圭子

1

Part 1

東京シューレの  
活動の全体像

2

- 1984年 登校拒否を考える会

↓

- 1985年 **東京シューレ開設**

以来30年 経ちました

3

はじまり  
北区の雑居ビルの狭い一室



4

居場所があることで、  
子どもたちは短期に元気になった



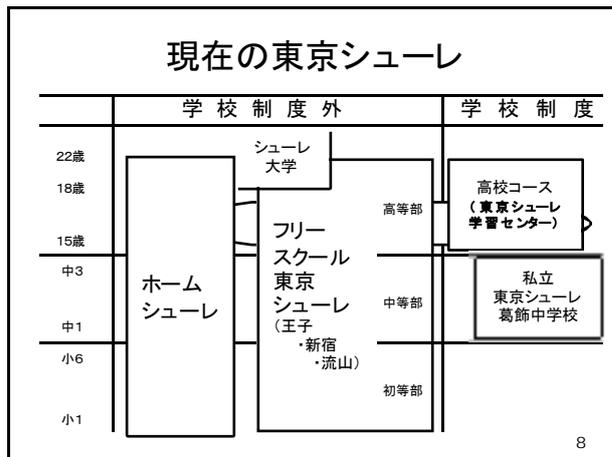
5

居場所があることで、  
子どもたちは短期に元気になった



6

1990年 王子一戸建てビル移転  
 1993年 ホームシューレ開始  
 1994年 大田シューレ開設  
 1995年 新宿シューレ開設  
 1999年 シューレ大学開校  
         NPO法人認証  
 2002年 流山シューレ開設  
 2007年 東京シューレ葛飾中学校開校  
 2012年 高校コース開始



### 規模・人数

| フリースクール  |           |           |           |            |
|----------|-----------|-----------|-----------|------------|
|          | 王子        | 新宿        | 流山        | 小計         |
| 高等部      | 51        | 16        | 8         | 75         |
| 中等部      | 17        | 7         | 1         | 25         |
| 初等部      | 6         | 4         | 6         | 16         |
| <b>計</b> | <b>74</b> | <b>27</b> | <b>15</b> | <b>116</b> |

ホームシューレ  
全国  
177家庭

有給スタッフ(常勤・非常勤含む)  
 フリースクール16名、ホームシューレ3名  
 +シューレ大学 学生28名、職員4名

### Part 2

## フリースクール部門について ～理念と活動～

- ①居場所であること
- 「自分は自分であっていいんだ」と思えたら、居場所となる
  - ありのままの尊重



## ② やりたいことを応援する

- やりたいことは、
  - エネルギーが出る。
  - 知恵も湧く。
  - 困難を解決する。
  - 何より、幸せ感を体験する
- 何もやらない自由もある

13

## ② やりたいことを応援する

- ログハウス建設



14

- ミニトレイン製造



15

- 世界フリースクール大会開催



16

- アラスカでオーロラを！



17

## ③ 自己決定の尊重

- 通い方、授業やイベントへの参加、  
服装、持ち物、過ごし方など、  
自分の目的・ペース・状況により、  
自分で決める

18

③自己決定の尊重

- 人生は自己決定の連続。  
自己決定能力が育つ重要性
- 他者の自己決定の尊重も学ぶ

19

④子どもたちで創るシュレー

- どのスペースでも  
毎週ミーティングを開催
  - 全体ミーティング、
  - 異年齢、
  - 部別ミーティング(初・中・高)

20

④子どもたちで創るシュレー(続き)

- 話し合う内容も様々
  - 学習のプログラム
  - イベントの内容
  - ルール決め
  - 問題解決      などなど

21

- ミーティングの様子(王子)



22

- 学習時間割(王子・中高等部)

23

- ミーティングで決めて取り組む  
~いろいろなタイム(王子)



24

- ミーティングで決めて取り組む  
～何かやる日(新宿): 凧づくり



25

- ミーティングで決めて取り組む  
～流山シューレ: チョコレートケーキ



26

実行委員会で取り組む

- 夏合宿



27

実行委員会で取り組む

- 映画『不登校なう』製作



28

実行委員会で取り組む

- 映画『不登校なう』製作



29

シューレ通信の発行(通信編集部)



- 通算317号発行

30

⑤違いを認め合って

- いのちは皆違う
- 発達障がいの増加
  - 特性に沿った環境作り
  - 個別対応をしっかりとやる

31

• 王子初等部の時間割

フリースクール部門への受け入れ

- 説明会を毎月開催(親の参加必須)
- 入会条件はただ1つ  
「本人の意志であること」
- スタッフがよく話を聞く
- 入会・退会はいつでも可

33

Part 3

ホームエデュケーション  
部門について  
~家庭をベースに学び育つ~

34

- 全国の不登校の半分近くは  
家庭で育っている
- 日本では、どこかに通わせないと  
ダメ、という教育観
- 家にいる子の自己否定感が強い
- 自立に不安を抱える

35

- 1993年  
全国の子どもと家庭がつながる  
ネットワークとサポートの活動

ホームショーレ

を開始

- そのきっかけは・・・

36

- 1992年  
学校不適応対策調査研究協力者会議  
↓  
文部省通知(文初中第三三〇号)で  
「民間施設」も出席扱いに

37

子どもは嫌なのに、  
フリースクールに行かされる  
↓  
苦しむ子どもが続く  
フリースクールにさえ行けない  
ダメ人間、と

日本では、家にいて育つことを  
認めない

38

家庭を拠点に 在宅不登校の  
育つ 子の  
あり方がある 自己肯定感を  
培いたい

↓ ↓  
ホームエデュケーション  
Home Education

39

- 1994年 我が国初の  
ホームエデュケーション  
シンポジウム

-アメリカ・  
イギリスより  
関係者招聘



40

- 全国規模でアンケート調査を実施

-在宅不登校の人は、  
何を求めているのか？

- ①仲間と出会いたい
- ②情報がほしい



41

仲間や情報と出会うために(1)



- 毎月の月刊誌
  - 家で書いた文や  
絵の投稿
  - スタッフからの情報
  - 企画の呼びかけ
  - メンバーで大部分を  
作成
  - 現在250号を越える

42

### 仲間や情報と出会うために(2)

- サイバーシューレSNS  
- 文部科学省委託事業



43

### 仲間や情報と出会うために(4)

- 全国合宿や地域サロン  
- 地域サロン



44

### 仲間や情報と出会うために(3)

- 全国合宿や地域サロン  
- 全国合宿



45

### それぞれの家庭では—



46

### それぞれの家庭では—



47

### それぞれの家庭では—



48

それぞれの家庭では—



49

学習サポート

●自作教材

市販教材活用



●高卒認定試験のサポート

●「高校コース」 16人所属

50

親どうしのつながり(1)



毎月送る冊子  
『メッセージ』

51

親どうしのつながり(2)



インターネットの  
交流サイト  
「親サイバー」

52

親どうしのつながり(3)



合宿や  
サロンで  
出会う

53

Part 4

“卒業生”たちの進路

- フリースクール(30年め)
- 約1400人
- ホームシューレ(22年め)
- 約1600人

54

●学校制度を使った進路

●学校を使わない進路

それぞれの行き方で歩んでいる

55

学校制度を使った進路

56

A子さんの事例

- いじめで中2より不登校
- シューレで、つらい気持ちをスタッフに聞いてもらえた。英語にますます興味
- 高校→大学では難民支援サークルに
- アメリカの大学院留学
- 国連の職員として勤務

57

B男さんの事例

- 小6より不登校  
→中1～中3をシューレで
- アルバイトして中南米に一人旅
- 貧困に出会い南北問題に関心  
→20代に大検→大学入学
- 新聞記者として勤務

58

C男さんの事例

- 小1より不登校、発達障がいと言われ、通級指導教室へ。
- 小4からシューレで算数が好きに。のびのびと過ごす。
- 都立高校から京都大学へ
- 現在、大学2年生

59

学校を使わずに

60

### Dさんの事例

- 小3より不登校
- 11～17歳シュールに。
- 鉄道好き、よく国内・国外の旅に。
- フランス語を習得、現地にも語学留学
- 中卒だが旅行歴を履歴書にたくさん書き、大手旅行会社に採用
- 国内で勤務後、現在はアフリカである国の事業責任者に。

61

### Eさん、Fさん、Gさんの事例

- 同時期をシュールで過ごす。
- “卒業”後、それぞれのやりたい活動や仕事に
- 再会時に意気投合し、HPなどの制作会社を設立

62

### Hさんの事例

- 小1より不登校。しばらく家で過ごす
- 中2、ホームシュールに入会。
- ホームシュールでボランティア・アルバイトを経験
- 自信がつき、生協の採用試験で正社員に。

63

★おわりに

64

### 全体的に共通して

- 親の理解が大事
- 親の会に力を入れてきたのがよかった

65

### 30年間やって来て思うこと4点

- ① 不登校の子どもたちの学習権保障をフリースクールはやってきました。
- ② 一人ひとりが元気になり、自立の道を見つけ、有意義でしたが、しっかりできるためには、公的支援が必要です。

66

## 30年間やって来て思うこと4点

- ③ また、就学義務の関係から、二重籍問題に悩み、制度上の仕組みの検討の必要性も感じてきました。

67

## 30年間やって来て思うこと4点

- ④ 9月総理訪問の際、安倍総理は「学び方・育ち方はいろいろだと思う」とおっしゃいました。

官邸HP



68

## 30年間やって来て思うこと4点

## ④(続き)

私たちも、そう考えて、活動を広げられました。

多様な学びを安心して選び、真に子ども一人ひとりの学ぶ権利が保障されるように切望いたします。

69